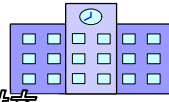


学校だより第10号 令和2年1月8日(水)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



さいたま市立木崎小学校

— 児童が目輝かせて、
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



働き者で人気者のねずみに負けず

校長 豊島 登

新年あけましておめでとうございます。保護者、地域の皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。私自身は、また無事に新しい年を迎えられたことに感謝するとともに、今年も与えられた職責を全うできるよう精一杯努めてまいります。

今年は、子(ね)年です。1年生も習った子どもの「子」という漢字です。これは、「絲」(し：小さく細い糸)や「茲」(じ：増える)と同系のことばで、「小さい」「繁殖する」という意味も含んでいます。また、十二支は植物が循環する様子を表しているという説があります。その1番目にくる「子」には、「新しい生命が種子の中に生まれた状態」を表していると考えられます。新しい物事が始まり、未来へ向けて育ち始める年と言ってもよいでしょう。

もともと十二支は順序を表す記号で、動物とは関係ありませんでした。だれもが覚えやすいようにと、身近な動物が後から割り振られたのだそうです。子年にあてられたのは、小さいけれど人間になじみの深い鼠(ねずみ)でした。

古くは弥生時代の高床倉庫に“ねずみ返し”がつけられていたように、ねずみは人間の食べ物を荒らす害獣であった反面、その旺盛な繁殖力から、子孫繁栄の縁起のよい動物ともされてきました。現代では、薬品開発などの実験動物としても、私たち人間のために大いに役立っています。ペットとして人気の高いハムスターやモルモットもねずみの一種です。アニメなどのキャラクターや物語の主人公として活躍するねずみもいます。

また、ねずみはちょこまかとよく動く“寝ず身”で、働き者というとらえ方もあります。確かに今この文章を打っているコンピュータの脇にも、カチカチ言いながら小刻みに動き回って働いてくれる“ねずみ”がいました。

今年も木崎小学校では、明るい未来を担う子どもたちを、いっそう深く慈しんでまいります。教職員一同、働き者で人気者のねずみに負けないよう、真心をこめて働き、子どもたちから好かれ、保護者や地域の方々から信頼されるよう努めてまいります。変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1月は、「あいさつ運動強化月間」です。新年、新学期を迎え、学校でも改めて気持ちのよいあいさつや返事について指導いたします。ぜひ、私たち大人が率先して手本を見せていきましょう。バッジ着用のご協力をお願いします。

大人が率先して手本を見せる
あいさつ運動実施中

あかるい声で

いつでもどこでも

人よりさきに

毎日つづける



木崎小・木崎小PTA・青少年育成木崎地区会